

あなたの色で輝こう ～可能性は∞～

# 久美高だより

第9号  
 発行 平成27年12月  
 京都府立久美浜高等学校  
 住所 京丹後市久美浜町橋爪65番地  
 電話 0772-82-0069

## 修学旅行に行ってきました。

2年生が、12月3日(木)から6日(日)の3泊4日の日程で沖縄へ修学旅行に行ってきました。この旅行の目的は、「沖縄の自然や文化、歴史にふれて学び、見聞を広める」ことでした。

2年生全員で沖縄に着くと、まず、平和の礎で戦没者の冥福を祈り、平和を守る誓いをしました。その後、平和祈念資料館、ひめゆり平和祈念資料館、ガマ体験、講話などで戦争と平和について考え、沖縄の歴史を伝える世界遺産・首里城も見学しました。

2日目午後からは、伊江島に渡り、民家に宿泊しながら、沖縄地方ならではの家業の体験などを行いました。全行程4日間はとても短いものでしたが、実り多い旅となりました。



### 1日目 (平和祈念公園⇒国際通り⇒ホテルで平和講話)

早朝に丹後を出発して、気温24℃、やや曇りの沖縄には午後に着きました。まず、日本人として心に刻んでおきたい戦争の碑、平和の礎を訪れ、全員で作成した千羽鶴を捧げ、恒久平和を誓いました。

沖縄での最初の夜、平和講話として平和ガイドの新里スエ様から沖縄戦の悲惨さとともに平和の大切さを学びました。



### 2日目 (ガマ体験⇒ひめゆり平和祈念資料館⇒首里城)

戦時中に防空壕となった糸数壕でのガマ体験をし、戦争末期、自分たちと同じ高校生が数多く犠牲となった歴史を伝えるひめゆり平和祈念資料館を訪れました。

その後は、沖縄が琉球王国であった時代の華やかな文化をいまに伝える、首里城を見学しました。

様々な角度から歴史を学んだ後は、沖縄本島の北西部にある、伊江島に渡りました。

数人ずつの班にわかれて2泊3日民家に宿泊し、沖縄の“いま”を体験しました。入村式の後、生徒はそれぞれの民泊先に向かいました。



### 3日目 (伊江島2泊で家業体験&文化交流)

民泊先では、島内観光をはじめ、農業体験、釣り体験、サンシン体験、沖縄名物の菓子「サターアンダーギー」作りなど、いろいろな体験をさせていただきました。

好天にも恵まれ、皆それぞれに、民泊先での体験を思う存分楽しんでいるようでした。



### 最終日 (伊江島⇒美ら海水族館⇒那覇空港)

朝、伊江島を出港し、最後の目的地である沖縄本土の美ら海水族館に向かいました。民泊でお世話になった方と別れを惜しみつつ、船は出航しました。

美ら海水族館では巨大な水槽にいるジンベイザメに感激、沖縄の良い締めくくりの思い出となりました。



## 今後の日程

12月18日(金)	第2学期 終業式
21日(月)～25日(金)	1・2年生集中学習会(会場:本校)
1月7日(木)	第3学期 始業式

最新情報は、久美浜高校ホームページで紹介しています。

# 活躍！久美浜高校生

久美浜高校  
出前授業

## 小学校で「豆腐づくり」

12月4日(金)、9日(水)の両日、京丹後市立かぶと山小学校(3年生)と京丹後市立弥栄小学校(3年生)で出前授業(豆腐づくり)を実施しました。

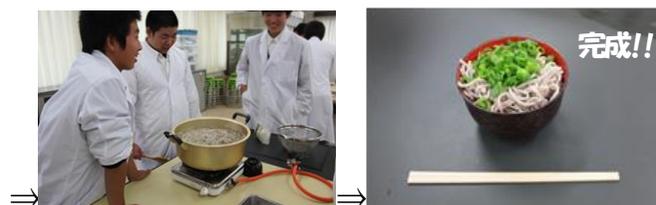
久美浜高校から理科の教員2名が参加し、大豆から豆腐ができるまでを体験してもらいました。小学生たちは、にがりを加えることで豆乳が固まる化学変化に驚いていました。



## そば打ち

季節を感じる生産科学系列の授業

12月10日(木)、2年生「食品製造」の授業では、今年最後の実習として「そば」を打ちました。そば粉10割のそばは切れやすいので、小麦粉2割を混ぜ、40%の温水+長芋を加えた、いわゆる「2-8そば」を打ちました。



このメニューは、小学校への出前授業も可能です。

希望される場合は、0772-82-0069 久美浜高校へお電話ください。

○年越しそばの由来(大晦日にそばを食べる理由) 諸説○

- (1) 細長く達者に暮らせることを願う
- (2) 蕎麦が切れやすいことから、1年間の苦勞を切り捨て、翌年に持ち越さないよう願った。
- (3) 金細工職人が、作業場に散った金粉をそば粉の団子で集めたことにちなみ金運を願った。

税に関する高校生の作文  
京丹後地区租税教育推進協議会 会長賞



大泉 ひなた さん (1年C組)

1年生「現代社会」の講座では、税金の意義や役割などを改めて考える機会として、<税に関する高校生の作文>コンクールに挑戦しています。今年度、大泉ひなたさんが、作文「税について」で、京丹後地区租税教育推進協議会会長賞を受賞しました。



京丹後市小町ろまん全国短歌大会 3首入選



大谷 未夏 さん (2年C組) 佳作

「君来たと思ひ駆けだす玄関へ 優しく揺れた風鈴の音」

「冬の空いちばん輝くオリオン座 決まり文句は君はどこかな」



井上 富巳香 さん (2年C組) 佳作

「夏になり短くなった髪を見て あなたはなんて言うのだろう」

今年度、京丹後市が主催する全国短歌大会に寄せられた5,304首の投稿から、本校2年生の大谷未夏さんの2首、井上富巳香さんの1首が、佳作に選ばれました。高校生らしい清らかな感性が輝きました。



第48回書窓学院書道公募展書窓学院長賞



山本 彩代 さん (1年C組)

平成27年11月20日から22日の3日間、書窓学院主催(毎日新聞社等後援)のコンクール第48回書窓学院書道公募展が開催されました。東京や大阪など全国から寄せられた1731点の応募作の中から、高校の部・書窓学院長賞に、本校1年生の山本彩さんの作品が選ばれました。

山本さんの作品は、「横書きのアルファベットと縦書きの日本語が上手に調和したユニークな作品である。」と、その独創性と筆力を高く評価されました。

